

平成27年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年4月10日

上場会社名 株式会社 ティムコ
 コード番号 7501 URL <http://www.tiemco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年4月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 酒井 誠一
 (氏名) 中山 芳忠

TEL 03-5600-0122

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年11月期第1四半期の業績(平成26年12月1日～平成27年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年11月期第1四半期	631	△5.9	△31	—	△30	—	△24	—
26年11月期第1四半期	671	12.8	△34	—	△30	—	△23	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年11月期第1四半期	△8.86	—
26年11月期第1四半期	△8.51	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円銭	百万円	円銭	%	円銭	円銭	
27年11月期第1四半期	7,586	—	6,570	—	86.6	—	2,330.65	
26年11月期	7,662	—	6,626	—	86.5	—	2,350.51	

(参考)自己資本 27年11月期第1四半期 6,570百万円 26年11月期 6,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年11月期	—	0.00	—	12.00	12.00
27年11月期	—	—	—	—	—
27年11月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年11月期の業績予想(平成26年12月1日～平成27年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	1,550	2.7	40	183.6	42	121.3	20	286.5	7.09
通期	3,000	2.4	70	177.2	73	102.3	40	392.9	14.19

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年11月期1Q	3,339,995 株	26年11月期	3,339,995 株
27年11月期1Q	520,756 株	26年11月期	520,756 株
27年11月期1Q	2,819,239 株	26年11月期1Q	2,819,829 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は、【添付資料】P3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)における日本経済は、政府の成長戦略に基づく経済政策の実施や原油価格の下落等により、雇用情勢の持ち直しや一部所得の改善が見られたものの、消費マインドの弱さや、海外景気の下振れなどにより、経済環境は不安定な状況が続きました。

当社の関連するアウトドア関連産業においても、長引く消費増税後の個人消費減退等により、全般に厳しい市場環境となりました。

このような状況の中、当社では収益内容の改善に取り組むべく積極的に営業活動を行ってまいりましたが、前年に発生した消費増税前の駆込需要の反動等の影響も加わり、当第1四半期の売上高は6億31百万円(前年同期比5.9%減)となりました。

また、円安による輸入商品の原価の上昇を補うべく経費削減に努めた結果、営業損失は31百万円(前年同期間 営業損失34百万円)、経常損失は30百万円(前年同期間 経常損失30百万円)となりました。なお、法人税等調整額△9百万円などの影響を受け、四半期純損失は24百万円(前年同期間 四半期純損失23百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、フライ用品は消耗品を中心に堅調に推移したものの、ルアー用品は仕入の遅延や取引先小売店の販売が低調であったことなどの影響により、販売は全般に苦戦をいたしました。

その結果、フィッシング事業の売上高は1億91百万円(前年同期比 12.1%減)となりました。また、円安進行による輸入商品の原価の上昇や在庫品の値下げ販売等の影響を受け、セグメント利益(営業利益)は3百万円(前年同期比 63.2%減)となりました。

(アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、防寒、防水性など機能を特長とする冬物衣料やアクセサリに安定した動きもみられましたが、個人消費の減退のなか、早期マークダウン(値引販売)を実施し、冬物の販売を促進するとともに、経費削減に努めてまいりました。

その結果、アウトドア事業の売上高は4億32百万円(前年同期比 3.8%減)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は19百万円(前年同期比 41.3%増)となりました。

(その他)

その他の主な内容は、損害保険代理業の手数料収入ならびに不動産賃貸収入売上であります。当第1四半期累計期間に関しては、賃貸面積の増床により、その他売上高は7百万円(前年同期比 105.7%増)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は6百万円(前年同期比138.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ76百万円減少し75億86百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少2億58百万円や受取手形及び売掛金の減少94百万円などの一方で、季節的な影響による商品及び製品の増加1億67百万円や有価証券の取得1億円などの影響により、前事業年度末に比べ69百万円減少し、41億70百万円となりました。

固定資産は、有形及び無形固定資産等の減価償却の実施による減少18百万円などの一方で、投資有価証券の増加4百万円や長期繰延税金資産の増加4百万円などの影響により、前事業年度末に比べ7百万円減少し、34億15百万円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ20百万円減少し10億15百万円となりました。

流動負債は、未払消費税の減少25百万円や未払費用の減少19百万円、返品調整引当金の減少18百万円などの一方で、支払手形及び買掛金が45百万円増加したことなどにより、前事業年度末に比べ14百万円減少し、7億39百万円となりました。

固定負債は、長期リース債務の減少5百万円などにより、前事業年度末に比べ5百万円減少し2億76百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ55百万円減少し、65億70百万円となりました。これは主に、四半期純損失24百万円の発生や、前事業年度決算の配当支出33百万円などによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年1月16日発表の「平成26年11月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年11月30日)	当第1四半期会計期間 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,440,056	1,181,569
受取手形及び売掛金	618,200	523,234
有価証券	914,193	1,014,210
商品及び製品	1,188,373	1,355,625
その他	81,276	97,821
貸倒引当金	△1,855	△1,570
流動資産合計	4,240,245	4,170,892
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	703,703	695,416
土地	2,011,097	2,011,097
その他(純額)	44,765	42,356
有形固定資産合計	2,759,566	2,748,870
無形固定資産	77,401	74,176
投資その他の資産	585,749	592,656
固定資産合計	3,422,717	3,415,704
資産合計	7,662,963	7,586,596
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	553,463	598,836
未払法人税等	19,928	6,087
返品調整引当金	24,365	6,257
賞与引当金	-	9,751
その他	156,347	118,722
流動負債合計	754,104	739,655
固定負債		
退職給付引当金	128,507	127,709
その他	153,704	148,581
固定負債合計	282,211	276,291
負債合計	1,036,316	1,015,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,861,448	3,861,448
利益剰余金	1,963,880	1,905,072
自己株式	△290,582	△290,582
株主資本合計	6,614,744	6,555,936
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,901	14,713
評価・換算差額等合計	11,901	14,713
純資産合計	6,626,646	6,570,649
負債純資産合計	7,662,963	7,586,596

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)
売上高	671,257	631,411
売上原価	381,044	364,237
売上総利益	290,212	267,173
返品調整引当金戻入額	19,510	24,365
返品調整引当金繰入額	8,944	6,257
差引売上総利益	300,778	285,281
販売費及び一般管理費	334,880	316,989
営業損失(△)	△34,102	△31,707
営業外収益		
受取利息	754	689
受取配当金	478	357
為替差益	2,001	324
その他	147	208
営業外収益合計	3,381	1,579
営業外費用		
その他	269	701
営業外費用合計	269	701
経常損失(△)	△30,989	△30,830
税引前四半期純損失(△)	△30,989	△30,830
法人税、住民税及び事業税	3,371	3,179
法人税等調整額	△10,366	△9,032
法人税等合計	△6,995	△5,853
四半期純損失(△)	△23,994	△24,977

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	218,223	449,501	667,724	3,532	—	671,257
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	218,223	449,501	667,724	3,532	—	671,257
セグメント利益又は損失(△)	10,634	13,648	24,283	2,698	△61,084	△34,102

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△61,084千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。

II 当第1四半期累計期間(自 平成26年12月1日 至 平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	191,821	432,325	624,146	7,264	—	631,411
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	191,821	432,325	624,146	7,264	—	631,411
セグメント利益又は損失(△)	3,914	19,287	23,202	6,446	△61,356	△31,707

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△61,356千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。